

岩手県スポーツ推進計画

2019 年度～2023 年度

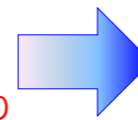
2019（平成 31）年 3 月

岩 手 県

「岩手県スポーツ推進計画」の概要

策定趣旨

- (1) 国において、2017年3月に第2期スポーツ基本計画を策定
- (2) 2016年に本県で開催した希望郷いわて国体・いわて大会のレガシーの継承
- (3) 2019年RWC釜石開催、2020年東京オリ・パラ大会開催を控え、**県民のスポーツ機運の高まり**



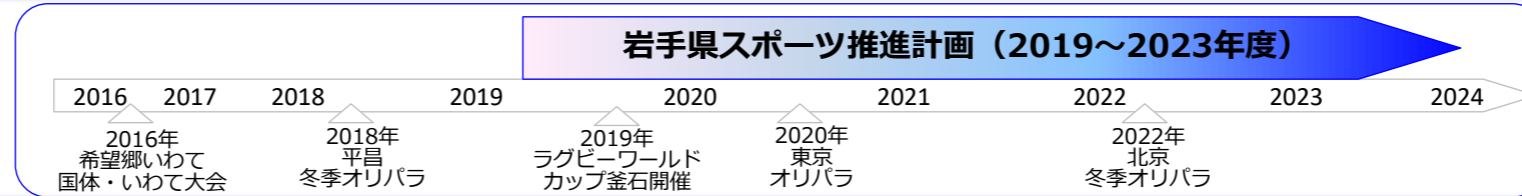
スポーツの推進により、県民の幸福で豊かな暮らしが実現するよう、**県民をはじめ市町村やスポーツ関係団体等と連携・協働し、県が総合的かつ計画的に取り組む施策を示すもの**

計画の位置付け

- (1) 「**いわて県民計画（2019～2028）**」に示している目標や取組等を具体化する個別計画
- (2) スポーツ基本法第10条に基づく「**地方スポーツ推進計画**」

計画期間

2019年度から2023年度(5年間)



目指す姿

スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造

1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

若年期から高齢期まで、生涯を通じてスポーツを楽しむことができる環境が整い、県民誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、スポーツにより喜びを得ることで、いきいきとした生活を送ることを目指します。

主な取組内容

- (1) **スポーツ参画人口の拡大**
 - ①スポーツを楽しむ機会の充実
 - ②総合型地域スポーツクラブの充実
 - ③スポーツを通じた健康増進
- (2) **子どものスポーツ機会の充実**
 - ①学校体育の充実
 - ②運動部活動の充実
 - ③地域における子どものスポーツ機会の充実
- (3) **成人のスポーツ機会の充実**
 - ①働く世代のスポーツ参画人口の拡大
 - ②高齢者のスポーツ参画機会の充実
- (4) **スポーツに関わる多様な人材の確保・育成**
 - ①地域スポーツを支える人材の育成
 - ②スポーツボランティアの養成の促進
 - ③スポーツ団体の組織・連携体制の強化
 - ④スポーツ功労者の表彰の実施
- (5) **スポーツを楽しむ環境の整備**
 - ①県有スポーツ施設のストックの適正化
 - ②地域スポーツ資源の有効活用・利用促進

2 共生社会型スポーツの推進

スポーツの推進により障がい者・高齢者等の配慮が必要な人々の社会参加が進み、障がいのある人もない人も、性別や年齢に関わらず、共にスポーツを楽しむ機会が拡大するとともに、スポーツにおいて女性が活躍し、県民の誰もが互いを理解・尊重しながら生きる社会の実現を目指します。

主な取組内容

- (1) **障がい者スポーツの推進**
 - ①障がい者のスポーツ参画機会の充実
 - 障がい者スポーツ教室・大会の開催
 - 総合型クラブの受入態勢整備
 - 障がい者スポーツの観戦機会の拡大等
 - ②障がい者がスポーツを楽しむ環境の整備
 - 障がい者スポーツ指導員の養成
 - 施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化等
- (2) **高齢者スポーツの推進**
 - ①高齢者のスポーツ参画機会の充実（再掲）
 - ②スポーツを通じた健康増進（再掲）
 - スポーツ医・科学の知見を生かしたトレーニング指導、栄養指導の実施等
- (3) **スポーツにおける女性の活躍推進**
 - ①女性のスポーツ参画機会の充実
 - スポーツ教室や運動プログラムの多様化の促進等
 - ②女性がスポーツを楽しむ環境の整備

3 国際的に活躍する競技スポーツの推進

オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍するトップアスリートを多数輩出することを目指します。
また、その活躍する姿により、県民が喜びと感動を味わい、スポーツのすそ野が拡大していくことを目指します。

主な取組内容

- (1) **アスリートの発掘・育成**
 - ①次世代アスリートの発掘・育成
 - 「いわてスーパーキッズ」に対する最新のトレーニング、様々な競技体験の実施等
 - ②国内外で活躍するアスリートの育成
 - トップアスリート・障がい者スポーツ選手の競技活動の支援等
 - ③アスリートが競技生活を継続できる環境の整備
 - ④スポーツ優秀選手の表彰
- (2) **競技力向上を支える人材の育成**
 - ①指導者の資質向上
 - 全国トップレベルの指導者招聘による実技指導を通じた資質向上等
 - ②アスリートのサポート人材の育成（いわてアスレティックトレーナーの養成等）
- (3) **競技力向上を支える環境の整備**
 - ①スポーツ医・科学、情報等を活用した支援（アスレティックトレーナーの大会等への派遣等）
 - ②競技団体の組織強化
 - スポーツ・インテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）の確保等

4 地域を活性化させるスポーツの推進

国内外からの誘客が図られ、交流人口が拡大するとともに、県内各地にスポーツツーリズム等の国内拠点が形成されることを目指します。
また、スポーツの推進により、経済的な交流の拡大を目指します。

主な取組内容

- (1) **地域の活力につながるスポーツの推進**
 - ①スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進
 - 大会・合宿等の誘致
 - スポーツアクティビティの創出・普及
 - トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室の開催等
 - ②ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進
 - 公認・事前キャンプの誘致
 - ホストタウン登録等の取組促進
 - 相手国との継続的な相互交流促進等
- (2) **経済の活性化につながるスポーツの推進**
 - ①大規模イベントやトップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援（大規模スポーツイベントの誘致等）
 - ②スポーツビジネスの創出・拡大
 - 産学官連携によるスポーツ関連の製品等の共同研究・開発に向けたネットワークの構築等

1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
①週1回以上のスポーツ実施率（成人）	61.7%	(2018) 63.5%	(2019) 64.0%	(2020) 64.5%	(2021) 65.0%	(2022) 65.5%
②体力・運動能力が標準以上 ^{*1} の児童生徒の割合（小学校5年生と中学校2年生の集計値）	81.3%	81.5%	81.5%	81.6%	81.7%	81.7%
【目標値の考え方】						
① 生涯を通じてスポーツを楽しむ県民の増加に向け、「県民のスポーツ実施状況に関する調査」から成人の週1回以上のスポーツ実施率を指標として設定します。国の第2期スポーツ基本計画の目標値（2021年に65.0%）を超えることを目標に、年0.5ポイントの増加を目指します。						
② 生涯を通じて運動やスポーツを楽しむ資質や能力を育成するため、体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合を指標として設定します。全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、本県の小学校5年生女子及び中学校2年生男女は全国10位以内、小学校5年生男子は全国14位であることから、今後はこの高い水準を維持しつつ、小学校5年生男子は全国10位程度を目指します。						

(1) 主な取組内容

① スポーツ参画人口の拡大

- ア スポーツを楽しむ機会の充実
- イ 総合型地域スポーツクラブの充実
- ウ スポーツを通じた健康増進

② 子どものスポーツ機会の充実

- ア 学校体育の充実
- イ 運動部活動の充実
- ウ 地域における子どものスポーツ機会の充実

③ 成人のスポーツ機会の充実

- ア 働く世代のスポーツ参画人口の拡大
- イ 高齢者のスポーツ参画機会の充実

④ スポーツに関わる多様な人材の確保・育成

- ア 地域スポーツを支える人材の育成
- イ スポーツボランティアの養成の促進
- ウ スポーツ団体の組織・連携体制の強化
- エ スポーツ功労者の表彰の実施

⑤ スポーツを楽しむ環境の整備

- ア 県有スポーツ施設のストックの適正化
- イ 地域スポーツ資源の有効活用・利用促進

(2) 事業

① スポーツ参画人口の拡大

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
生涯スポーツ振興事業	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣
地域スポーツ推進事業	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信
スポーツ振興戦略推進事業	県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、県民がスポーツを楽しむ機会を確保する。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 試合への観戦招待 ○ スポーツ教室の実施
超人スポーツプロジェクト	年齢や身体能力、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめる競技の考案と普及を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 競技考案ワークショップの開催 ○ 考案した競技の発表会の開催
スポーツ医・科学サポート事業	スポーツ医・科学の知見に基づくサポートを実施し、生涯スポーツや健康づくりを推進する。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 医・科学専門員による運動プログラムの作成・提供、実技指導

② 子どものスポーツ機会の充実

ア 学校体育の充実

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
希望郷いわて元気・体力アップ60運動	体力向上を目指して、子供が1日に合わせて60分以上運動（遊び）やスポーツに親しむために、学校等が家庭・地域と連携して運動習慣形成に向けた環境づくりに取り組む。	【期日】 通年 【対象】 公立幼稚園・小・中・義務教育学校・県立学校 【内容】 ○ 県体力・運動能力調査結果個票の配付 ○ 「ステップ8000!」に係る歩数計の貸出 ○ 体力向上取組事例の集積と情報発信 ○ 60運動 [ステップ8000!] チャレンジカードの送付
地区別体力向上課題対策会議	令和元年度の計画に基づいて実施している各校体力向上取組の状況をそれぞれ評価し、管内各中・義務教育学校の担当者による演習や協議等を通して、各校における今後の取組改善に資する。	【期日】 8月～9月 【対象】 中・義務教育学校の体力向上取組の中心となる教員 【場所】 体育館施設付帯の学校等 【内容】 体力向上取組に係る協議、実技等の実施
幼児の60運動遊びプロジェクト	幼児に対して、運動習慣を身に付けるための支援を行うとともに、保護者に対して幼児期における運動遊びの重要性について啓発を図る。	【期日】 通年 【対象】 県内公立幼稚園3園 【内容】 ○ 各種（歩数・運動能力等）調査の実施 ○ 幼稚園教諭等の指導者講習会の実施 ○ 保護者啓発セミナーの開催
幼児児童の運動遊び研修会	幼児児童の運動や遊びの意義や実際について理解を深め、各園・小学校における運動遊びの充実と、教員等の指導力向上に資する。	【期日】 9月26日（沿岸南部地区） 9月27日（県南地区） 【場所】 三陸公民館 奥州市総合体育館 【対象】 県内幼稚園等の指導者・小学校教員 【内容】 中央講師による講義及び実技の実施
特別支援学校体育指導者研修会	特別支援の視点に立った指導の在り方について理解を深め、特別支援学校等における体育指導の充実と指導者の資質向上に資する。	【期日】 6月10日 【場所】 総合教育センター 【対象】 県特別支援学校等教員 【内容】 中央講師による講義及び実技の実施
小中学校体育実技研修会	運動好きの児童生徒の育成や体力の向上のため、健やかな体の育成の基礎を担う体育・保健体育科に係る指導者の指導力向上に資する。	【期日】 7月2日、9月3日 【場所】 県営武道館・体育館・屋内温水プール 【対象】 市町村立学校の教員 【内容】 講義・演習・実技の実施 〔器械運動系・水泳・柔道（研修歴なし） 体づくり運動（系）・武道（剣道）〕
高等学校保健体育指導者研修会	調和のとれた体力の向上を図るための指導方法を習得し、教員の資質及び指導力の向上を図る。	【期日】 6月13日、7月2日、9月3日 【場所】 県営武道館・体育館・屋内温水プール等 【対象】 公立高等学校の保健体育科教員 【内容】 講義・演習・実技の実施 〔保健・器械運動系・水泳 体づくり運動・武道（剣道）〕

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
被災地域体力向上支援事業支援	東日本大震災津波及び台風等の影響から、体力向上に係る課題を抱える学校を対象に、きめ細やかな支援を実施することにより、当該校の体力向上の推進を図る。	【期日】 通年 【対象】 沿岸3地区の小・中・義務教育学校 【内容】 体力向上担当者のサポートや、課題改善のための具体的な取組を提示するため、指導主事の定期訪問を実施
武道等指導充実・資質向上支援事業【スポーツ庁委託事業】		
中学校武道地域指導者派遣事業	保健体育授業における武道指導の充実に向け、教員の資質向上、生徒の武道に対する意欲や関心の向上及び武道授業の安全かつ円滑な実施に資する。	【期日】 8月～1月 【対象】 希望する中・義務教育学校 12校 【内容】 武道の授業を授業担当者とチームティーチングにより指導するため、地域指導者の派遣を実施
複数武道実践モデル校指定事業	地域の特色を生かした中学校体育授業における武道指導の充実に向け、複数武道種目の指導や評価の在り方等について明らかにし、その成果を普及する。	【期日】 8月～1月 【対象】 市町村教育委員会が指定する公立中学校・義務教育学校 2校 【内容】 柔道及び剣道、相撲のいずれかに加え、地域の特色を生かした武道種目の指導実践を実施
地区別授業改善研修会(ダンス領域)	本県における体育授業に対する生徒の意識や、小学校教員のニーズを踏まえ、表現領域の授業改善に係る研修を実施し、教員の資質向上を図る。	【期日】 10月～11月 【対象】 小・義務教育学校 【内容】 モデル授業の提供及び研究協議、中央講師による講義・実技研修等を実施
オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業【スポーツ庁委託事業】	スポーツの意義や価値を学ぶオリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。	【期日】 9月～12月 【対象】 推進校 16校 【内容】 ○ オリンピアン・パラリンピアンを派遣し授業等を実施 ○ 事前セミナー、実践報告会の開催 ○ 希望する学校へのボッチャ・ゴールボール用具の貸出を実施

イ 運動部活動の充実

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
「岩手県における部活動の在り方に関する方針」の改定	運動部ガイドライン及び文化部ガイドラインを踏まえた県の方針の策定及び改定を行う。	【期日】 第1回：平成31年2月12日（火） 第2回：平成31年3月15日（金） 第3回：令和元年5月15日（水） 【内容】 ○ 関係団体等により構成する「岩手県における部活動の在り方に関する方針」検討会議を開催 ○ 「岩手県における部活動の在り方に関する方針」改定通知（9月）
運動部活動指導者研修会	部活動ガイドライン等に基づいた科学的な指導内容の定着を図る。	【期日】 6月～7月 【場所】 滝沢市 盛岡市 【対象】 県北地区、盛岡地区の部活動指導者 【内容】 中央講師を招聘し、研修の実施
いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助	被災生徒の運動部活動への支援を行う。	【期日】 通年 【対象】 被災生徒 【内容】 被災生徒へ県中体連及び県高体連を通じて交通費・宿泊費・参加料を補助
いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業	被災生徒の運動部活動への支援（バス支援）を行う。	【期日】 通年 【対象】 被災した中学校及び高等学校 【内容】 運動部活動が内陸部等の体育施設に移動して活動するための、バス借上げ費用を支援
岩手県高等学校体育連盟強化事業 岩手県中学校体育連盟強化事業	中学生・高校生の部活動指導体制整備を図る。	【期日】 通年 【対象】 全国大会等上位大会に出場する生徒 【内容】 全国総合体育大会及び全国中学校体育大会への派遣費補助、選手強化事業に要する経費一部補助
部活動指導員配置事業	部活動指導に係る時間を軽減するとともに、部活動を担当する教員の支援と部活動の質的な向上を図る。	【内容】 ○ 部活動指導員に係る規則の整備 ○ 部活動指導員の任用 ○ 部活動指導員に対する研修（年間2回） ○ 県立学校に配置する経費負担 ○ 公立中学校等に配置する経費負担(1/3)
スポーツ特別強化指定校の指定	本県の競技スポーツにおける高校生の選手強化、競技力の向上を図る。	【対象】 公立学校 【内容】 スポーツ特別強化指定校の指定、優秀指導者の認定と長期配置（原則12年間）

ウ 地域における子供のスポーツ機会の充実

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信
スポーツ振興戦略推進事業 【再掲】	県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、県民がスポーツを楽しむ機会を確保する。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 試合への観戦招待 ○ スポーツ教室の実施

③ 成人のスポーツ機会の充実

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【内容】 ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信
高齢者スポーツ活動振興事業	高齢者のスポーツ活動機会を創出し、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。	【期間】 5月・8月・9月・11月 【対象】 県民 【内容】 ○ 岩手県民長寿体育祭 ○ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）

④ スポーツに関わる多様な人材の確保・育成

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【内容】 ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信
スポーツ振興戦略事推進事業	県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、スポーツボランティアの養成を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 スポーツボランティア講習会の開催
スポーツ推進プラットフォーム構築事業	県内のスポーツ関連団体や企業、大学等の官民連携体制を構築し、本県スポーツ振興の核として取組を推進する。	【期間】 通年 【対象】 県内スポーツ関係団体、企業、大学等 【内容】 ○ 他地域での取組事例の調査 ○ 体制構築に向けた関係者との調整
スポーツ功労者表彰事業	スポーツの普及・奨励に尽力し、スポーツの振興に寄与した指導者や団体を顕彰する。	【時期】 12月 【対象】 スポーツの振興に寄与した指導者や団体 【内容】 岩手県文化スポーツ表彰の開催

⑤ スポーツを楽しむ環境の整備

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
スポーツ施設管理運営事業	<p>広く県民がスポーツに親しむことができるよう、県営スポーツ施設を指定管理者制度を用いて管理し、効果的・効率的な管理運営を行う。</p>	<p>【期間】 通年 【対象】 県営スポーツ施設（9ヶ所） 【内容】 県営スポーツ施設の管理運営</p>
スポーツ施設整備事業	<p>県営スポーツ施設の安全性を第一に、機能の向上、利便性、快適性の向上に配慮し施設の改修等を行う。</p>	<p>【期間】 通年 【対象】 県営スポーツ施設（9ヶ所） 【内容】 県営スポーツ施設の改修等</p>
新野球場整備事業	<p>県営野球場は、老朽化が進み、また、公認野球規則の標準的基準を満たしていないことから、盛岡市と共同で新野球場の整備を進める。</p>	<p>【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 令和元年度：事業者募集・選定 令和2年度：設計 令和3～4年度：建設工事 令和5年度：供用開始（予定）</p>

2 共生社会型スポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
障がい者スポーツの教室・大会の参加人数 [累計]	2,954 人	3,070 人	6,200 人	9,390 人	12,640 人	15,950 人
【目標値の考え方】 障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実に向け、障がいの有無に関わらず、障がい者スポーツの教室・大会に多くの県民が参加することを目指し、障がい者スポーツの教室・大会に参加する障がいのある人もない人も含めた人数を指標として設定します。過去4年間の障がい者スポーツ教室・大会の参加者数の平均増加数 57.6 人を踏まえ、障がい者対象のスポーツ大会やスポーツ教室の開催等の取組により、2019 年度を 3,070 人とし、毎年 60 人の増加を図り、5 年間累計で 15,950 人の参加を目指します。						

(1) 主な取組内容

① 障がい者スポーツの推進

- ア 障がい者のスポーツ参画機会の充実
- イ 障がい者がスポーツを楽しむ環境の整備

② 高齢者スポーツの推進

- ア 高齢者のスポーツ参画機会の充実（再掲）
- イ スポーツを通じた健康増進（再掲）

③ スポーツにおける女性の活躍推進

- ア 女性のスポーツ参画機会の充実
- イ 女性がスポーツを楽しむ環境の整備

(2) 事業

① 障がい者スポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
障がい者スポーツ振興事業	障がい者が身近な地域で日常的にスポーツを楽しむことができるよう、参画機会の充実を図る。	【期日】 通年 【対象】 県民 【内容】 ○ スポーツ教室 ○ 指導員育成 ○ 障がい者スポーツ大会 ○ 障がい者スポーツ選手育成強化 ○ 障がい者スポーツ推進員設置
スポーツを通じた共生社会づくり推進事業	障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しめる環境づくりを推進する。	【期日】 通年 【対象】 県民 【内容】 ○ 障がい者スポーツ体験会、出前授業 ○ 障がい者のある人もない人も共に楽しむスポーツ教室

② 高齢者スポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
高齢者スポーツ活動振興事業 【再掲】	高齢者のスポーツ活動機会を創出し、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。	【期間】 5月・8月・9月・11月 【対象】 県民 【内容】 ○ 岩手県民長寿体育祭 ○ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）
スポーツ医・科学サポート事業 【再掲】	スポーツ医・科学の知見に基づくサポートを実施し、生涯スポーツや健康づくりを推進する。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 医・科学専門員による運動プログラムの作成・提供、実技指導

③ スポーツにおける女性の活躍推進

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【内容】 ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信
スポーツ医・科学サポート事業	県独自のアスレティックトレーナーを養成し、スポーツ医・科学サポート体制の更なる強化を図る。	【期間】 通年 【対象】 理学療法士 【内容】 講習会の実施 (女性トレーナーの受講生確保)

3 国際的に活躍する競技スポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
①国民体育大会天皇杯順位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位
②本県関係選手の日本代表選出数 [累計]	40人	28人	56人	84人	112人	140人
【目標値の考え方】 ① 本県競技力の維持・向上を図るため、国民体育大会天皇杯順位を指標として設定します。国民体育大会天皇杯順位は、希望郷いわて国体を契機に2015年から全国順位で東北1位を維持しており、アスリートの大会参加や強化合宿に係る活動支援等の取組により、今後も、東北1位を目指します。 ② オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍する選手の輩出に向けて、本県関係の日本代表選手数を指標として設定します。過去5年間の本県関係選手の日本代表選出数の平均26.8人を踏まえ、「いわてスーパーキッズ」の発掘・育成やトップアスリートの競技活動の支援等の取組により、毎年28人、5年間累計で140人の輩出を目指します。						

(1) 主な取組内容

① アスリートの発掘・育成

- ア 次世代アスリートの発掘・育成
- イ 国内外で活躍するアスリートの育成
- ウ アスリートが競技生活を継続できる環境の整備
- エ スポーツ優秀選手の表彰

② 競技力向上を支える人材の育成

- ア 指導者の資質向上
- イ アスリートのサポート人材の育成

③ 競技力向上を支える環境の整備

- ア スポーツ医・科学、情報等を活用した支援
- イ 競技団体の組織強化

(2) 事業

① アスリートの発掘・育成

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
ア 次世代アスリートの発掘育成		
いわてスーパーキッズ発掘・育成事業	世界で活躍が期待されるトップアスリートを発掘・育成するため、優れた運動能力を有する小学生に対し、競技体験や最新トレーニングを実施し、個々の才能を発揮できる競技への挑戦機会を提供する。	【期日】 通年 【場所】 県内スポーツ施設等 【対象】 選考された小学5年生から中学3年生（各学年約30名） 【内容】 ○ 発掘プログラム（U12：小4対象、U15 ^{※1} ：小6対象） <small>※1はR元年度から実施</small> ○ 育成プログラム（身体・知的能力開発プログラム、競技体験・トレーニング、トレーニングキャンプ等）
メダリスト育成支援事業	本県の中学生・高校生等で、年代別の世界トップレベルにある選手がオリンピックでメダルを獲得するため、海外遠征等の競技活動を支援する。	【期日】 通年 【場所】 指定選手の競技活動場所（国内外） 【対象】 県体協が指定する選手（3名） 【内容】 海外遠征・国内遠征の補助（上限60千円/人）
いわてスポーツアカデミー事業	世界レベルのトップアスリートをジュニア期から育成するため、県内競技団体が行う小学生から中学2年生の育成の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県体協が指定する競技団体の活動場所（県外も対象） 【対象】 県体協が指定する競技団体（5団体） 【内容】 国内遠征費補助、競技用具購入費補助
Jr トップ選手支援事業	中央競技団体が開催するJOCジュニアオリンピックカップ全国大会に出場する小・中学生の参加旅費を支援することで、この年代の競技力向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 各大会会場 【対象】 JOCジュニアオリンピックカップ全国大会に出場する小・中学生 【内容】 参加旅費の補助
イ 国内外で活躍するアスリートの育成		
競技力向上支援事業	いわて国体に向けて強化された競技力の維持・向上を図るため、各競技団体の選手強化の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県内及び県外 【対象】 国体候補選手（成年・少年） 【内容】 競技団体が行う強化練習・遠征合宿等の経費補助
強化指定クラブ支援事業	国体候補選手を効果的に強化するため、選手の活動拠点となるクラブ、企業、公立・私立高校を指定し、その選手強化の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県内及び県外 【対象】 県体協が指定するクラブ・企業・学校等のチーム 【内容】 指定団体が行う強化練習・遠征合宿等の経費補助

事業名		目的（趣旨）	事業の概要
	トップアスリート支援事業（活動支援）	国際的に活躍するトップアスリートを輩出するため、日本代表候補選手等に対し、国内外の遠征に係る旅費等の経費を支援する。	【期日】 通年 【場所】 国内及び国外 【対象】 県体協が指定する選手 【内容】 指定選手が参加する国内外の遠征に係る経費を補助
	パラリンピック選手育成強化事業	パラリンピック等国際大会で活躍する本県ゆかりの障がい者スポーツ選手を輩出するため、強化指定選手に対し、介助者も含めた国内外の遠征に係る経費を支援する。	【期日】 通年 【場所】 国内及び国外 【対象】 県が指定する強化指定選手 【内容】 指定選手が参加する国内外の遠征に係る経費を補助
	障がい者スポーツ育成研修会	パラリンピック等国際大会の正式種目に取り組む選手や強化指定選手の競技力向上を図るため、スポーツ医・科学的な研修会等を実施するとともに、有望選手の発掘・育成に取り組む。	【期日】 ・全体研修：6月・10月・1月（年3回） ・競技研修：7月～1月 【場所】 県内スポーツ施設等 【対象】 県が指定する強化指定選手及び県障がい者スポーツ協会等が推薦する選手 【内容】 ○ 全体研修（形態・体力測定、トレーナーによる指導、スポーツ栄養・メンタル等の講義） ○ 競技研修（選手が取り組む競技のトレーニング）
ウ アスリートが競技生活を継続できる環境の整備			
	いわナビ推進事業	アスリートの県内定着を促進するため、選手と県内企業が一同に会する就職マッチングの機会を提供	【期日】 3月15日（日） 【場所】 いわて県民情報交流センター 【対象】 2021年3月に大学・短大・専門学校を卒業予定の選手又は卒業3年以内で競技を継続している選手 【内容】 ジョブカフェによる応募対策セミナー、企業との個別ガイダンスの実施
	トップアスリート支援事業（雇用支援）	オリンピックやワールドカップ等に日本代表として出場するトップアスリートを輩出するため、競技活動をサポートし、競技に専念できる環境を整える雇用企業への支援	【期日】 通年 【場所】 公益財団法人岩手県体育協会 【対象】 ホッケー、ショートトラックスピードスケートの2選手 【内容】 人件費の補助
エ スポーツ優秀選手の表彰			
	岩手県スポーツ賞表彰	アスリートの育成に資するため、国際大会や国体をはじめとする全国大会等において優秀な成績や顕著な業績があった選手やチームを表彰	【期日】 3月9日（月） 【場所】 エスポワール岩手 【対象】 令和元年度における優秀な成績、業績のあった選手及びチーム 【内容】 岩手県スポーツ賞を授与（知事表彰）

② 競技力向上を支える人材の育成

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
ア 指導者の資質向上		
指導者育成事業 （スポーツ医・科学サポート事業）	スポーツ少年団や中学校・高等学校等の指導者に対し、スポーツ医・科学的知見を有する講師による研修会を実施し、指導者の知識と指導技術の向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 スポーツ医・科学測定室、競技団体練習会場等 【対象】 選手強化事業対象指導者、いわて障がい者スポーツ強化指定選手の指導者、県高体連強化拠点校指導者、その他競技団体等が認める指導者 【内容】 トレーニング、スポーツ栄養、メンタル、アンチ・ドーピング、スポーツ・インテグリティ等の講義を実施
アドバイザーコーチ招聘事業	日本代表監督等のキャリアを持つ全国トップレベル指導者を招聘し、その指導法を学ぶことから県内指導者の資質向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 競技団体練習会場等 【対象】 各競技団体指導者 【内容】 県内選手への実技指導等を通じた指導者研修会の開催
トップコーチ活動支援事業	日本代表チームの指導経験等のあるトップコーチを、中央競技団体が実施する専門研修へ派遣し、資質の向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 トップコーチの研修場所 【対象】 日本代表チームの指導経験等により県体育協会が認定した本県指導者 【内容】 実技指導等を通じた研修会の開催
競技力向上支援事業 【再掲】	いわて国体に向けて強化された競技力の維持・向上を図るため、各競技団体の選手強化の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県内及び県外 【対象】 国体候補選手（成年・少年） 【内容】 競技団体が行う強化練習・遠征合宿等の経費補助
障がい者スポーツ指導員育成事業	障がい特性に応じた配慮等、適切な指導ができる障がい者スポーツ指導員の養成及び資質向上の研修を実施し、障がい当事者が希望するスポーツに継続的に親しむことができる環境を整備する。	1 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 【期日】 令和元年7月13日・14日 【場所】 ふれあいランド岩手 【対象】 県内の資格取得希望者 【内容】 スポーツの導入を支援する者を養成する講習会を実施（基準カリキュラム18時間以上） 2 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会兼フォローアップ研修会 【期日】 令和2年1月～3月 【場所】 ふれあいランド岩手 【対象】 県内の初級障がい者スポーツ指導員資格取得者のうち希望者 【内容】 障がい者スポーツのリーダーとして、十分な知識、技術と経験に基づき指導を行える指導者の模範となる者を養成。基準カリキュラムは56時間以上。資格取得者に対するフォローアップ研修も実施

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
イ アスリートのサポート人材の育成		
トレーナースタッフ派遣事業	<p>県内競技団体及び障がい者アスリートが実施する強化練習会や参加する東北・全国大会等にトレーナーを派遣し、選手を総合的にサポートする。</p>	<p>【期日】 通年 【場所】 選手が活動する強化練習会及び大会会場及び宿舍等 【派遣対象】 (公財) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、(公財) 日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー、いわてアスレティックトレーナー 【内容】 大会及び強化練習会等における選手のコンディショニング、アスレティックリハビリテーション、メンタル、アンチ・ドーピング等の指導及びマネジメントを実施</p>
IAT 3 期生養成事業	<p>本県の競技力向上を支える人材として「いわてアスレティックトレーナー」第3期生を養成し、スポーツ医・科学の知見を有する人材を確保し、選手のサポートを拡大する。</p>	<p>【期日】 令和元年9月～令和4年3月31日 【場所】 スポーツ医・科学測定室、県内施設等 【対象】 資格取得を希望する応募者から選考委員会により受講を認められた者（15名程度） 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 講習（14科目 60時間） ○ 実習（12時間） ○ 試験（2時間） </p>

③ 競技力向上を支える環境の整備

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
ア スポーツ医・科学、情報等を活用した支援		
アスリート体力向上支援事業	選手の形態や体力を測定し、その結果を選手及び指導者にフィードバックすることで、効率的なトレーニングを実施する。	【期日】 通年 【場所】 スポーツ医・科学測定室、県内医療機関、大学、強化練習会・合宿会場等 【対象】 選手強化事業対象選手、いわて障がい者スポーツ強化指定選手、県高体連強化拠点校選手、その他競技団体等が認める選手等 【内容】 骨格筋量・体脂肪量の身体組成、反応時間・柔軟性・全身持久力・瞬発力等の基礎体力を測定
アスリート研修会	スポーツ医・科学の知見に基づく研修会を実施し、アスリートのセルフマネジメント能力と指導者の知識・技術の向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 スポーツ医・科学測定室、強化練習会・合宿会場等 【対象】 選手強化事業対象選手、いわて障がい者スポーツ強化指定選手、県高体連強化拠点校選手、その他競技団体等が認める選手 【内容】 フィジカルトレーニング、スポーツ栄養、メンタル、障害予防、アンチ・ドーピング等の知見を有する専門家による講義及び実技の研修会を実施
イ 競技団体の組織強化		
スポーツ・インテグリティ推進事業	岩手県体育協会と連携し、アスリートや指導者に対するハラスメント、暴力等の防止に向けた研修の実施や競技団体の取組を支援するとともに、相談体制の充実を図り、スポーツの誠実性・健全性・高潔性を確保する。	【期日】 通年 【場所】 県体育協会事務局、県内会場等 【対象】 競技団体、選手・指導者 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス研修会の実施 ○ 県体育協会職員の中央研修参加 ○ 各競技団体の研修参加経費の補助

4 地域を活性化させるスポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数 [累計]	130 千人	166 千人	310 千人	451 千人	594 千人	740 千人
【目標値の考え方】 地域の活性化に向けて、スポーツを通じた交流人口の拡大に取り組むいわてスポーツコミッションの構成団体が誘致・実施するスポーツ大会・合宿・イベントの参加者数を指標として設定します。2017年のスポーツ大会・合宿・イベントの参加者数の実績130千人を踏まえ、スポーツ大会・合宿等誘致の取組により、RWC2019等の大規模スポーツイベントを含め、2019年度の166千人から、5年間累計で740千人の参加を目指します。						

(1) 主な取組内容

① 地域の活力につながるスポーツの推進

- ア スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進
- イ ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進

② 経済の活性化につながるスポーツの推進

- ア 大規模イベントやトップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援
- イ スポーツビジネスの創出・拡大

(2) 事業

① 地域の活力につながるスポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
復興五輪関係（復興五輪ムーブメント推進事業費）		
「復興の火」展示	ギリシャで採火した火を「復興の火」として、県内各地で展示することにより、復興に取り組む県民に勇気と希望を与えるとともに、その姿と、復興支援への感謝の気持ちを国内外に発信する。	【期日】 令和2年3月22日（日）、23日（月） 【場所】 三陸鉄道及びSL銀河の車両展示、大船渡市 【内容】 県内各地での「復興の火」を展示（岩手県、宮城県、福島県で実施）
オリンピック聖火リレー（ランナー選考含む）	東京2020オリンピックの機運を高めるとともに、多くの県民がオリンピックの意義の共有を図る。	【期日】 令和2年6月17日（水）～19日（金） 【場所】 28市町村 【内容】 県内を3日間かけて、聖火ランナーが聖火をつなぐリレーを実施
パラリンピック聖火フェスティバル	東京2020パラリンピックの機運を高めるとともに、県内各地で行われる採火・集火・出立のイベントを通じた共生社会の促進を図る。	【期日】 令和2年8月13日（木）～17日（月） 【場所】 各市町村 【内容】 市町村ごとにパラリンピック聖火の採火・展示を行い、県で一つに火に集火し、開催都市である東京へ送り出すセレモニーを実施
ホストタウン、事前キャンプ誘致	東京2020オリパラ大会終了後を見据えた人的・経済的交流の進展に向け、市町村によるホストタウン登録、事前キャンプ誘致などの取組を促進する。	【期日】 通年 【対象】 ホストタウン市町村及びホストタウン登録、事前キャンプ誘致を目指す市町村 【内容】 大会終了後を見据えた交流計画の策定・実施の支援や先進事例の紹介、相手国との交渉の支援
旧国立競技場炬火台の常設・巡回展示	旧国立競技場炬火台の常設展示や巡回展示を通じた東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る	【期日】 5月21日（火）～7月14日（日） 【場所】 盛岡市、釜石市、宮古市、洋野町、陸前高田市 【内容】 盛岡市での常設展示や三陸防災復興プロジェクト2019等を通じた巡回展示を実施
機運醸成イベント「いわてスポーツフェスタ Go for 2020」	東京2020オリンピック開催1年前に、ホストタウン市町村の取組などを広く発信し、大会への機運醸成を図る。	【期日】 令和元年7月27日（土）、28日（日） 【場所】 イオンモール盛岡 【内容】 ホストタウン市町村の取組や相手国を紹介するブースの展示、オリンピックによるトークショー、スポーツ体験コーナーのイベントを実施

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
スポーツコミッション関係（スポーツ振興戦略推進費）		
スポーツ資源やスポーツイベント等の情報発信	本県のスポーツ施設や自然環境、観光情報を、様々な媒体により発信し、国内外からの交流人口の拡大を図る。	【期日】 通年 【場所】 ー 【対象】 国内外問わず全ての人が対象 【内容】 いわてスポーツコミッションWebページ、フェイスブック、ツイッター、スポーツキャンプガイドブック及びスポーツ関連総合展示会（スポルテック）による情報の発信
スポーツ大会・合宿の誘致	県内市町村と連携し、スポーツ資源や合宿支援制度の説明等を行なう相談会を都内で開催し、県内への大会・合宿の誘致を促進する。	【期日】 ①9月12日（木）～13日（金） ②2月中旬（予定） 【場所】 東京都（都道府県会館） 【対象】 県内市町村、大学・企業チーム、旅行代理店 【内容】 各市町村と首都圏の大学・企業チーム及び旅行代理店が、合宿実施に向けた個別相談を実施
クライミングアジア選手権盛岡2020大会の開催準備	スポーツクライミングをパイロット事業とし、県内各地の特色を生かしたスポーツ拠点形成を促進する。	【期日】 令和2年4月27日（月）～5月3日（日） 【場所】 県営運動公園登はん競技場 【内容】 競技種目：リード、ボルダリング、スピード、コンバインド 施設整備：ボルダリング施設新築（令和2年3月完成予定）
スポーツアクティビティ先導モデルブラッシュアップ	岩手の自然を生かしたスポーツアクティビティを通じた交流人口の拡大による地域活性化を図る。	【期日】 7月10日（水）～3月6日（金） 【場所】 久慈市、田野畑村、大船渡市、雫石町、花巻市 【対象】 先導モデル（5事業）、地域関係者 【内容】 先導モデル間の交流連携や、地域関係者との合意形成、専門家による指導等によるブラッシュアップを実施
トップ・プロスポーツチームとの連携・協働	県民の運動機会を創出するとともに、チームへの愛着や地域とチームとの一体感の醸成を図る。	【期日】 5月～3月31日（木） 【場所】 県内各地 【対象】 いわてグルージャ盛岡 岩手ビッグブルズ 釜石シーウェイブスRFC 【内容】 冠ゲームの開催、観戦招待、スポーツ教室・福祉施設への訪問交流等の実施

② 経済の活性化につながるスポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	事業の概要
スポーツコミッション関係（スポーツ振興戦略推進費）		
スポーツ資源や受入態勢の情報発信	本県のスポーツ施設、自然環境や受入態勢の情報発信を通じ、大規模スポーツイベント等の誘致による地域経済の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ いわてスポーツコミッションWebサイト 【内容】 大会開催地、合宿先の紹介、アウトドアイベント、スポーツ大会の紹介、補助金制度の紹介 ○ いわてスポーツキャンプガイドブック 【内容】 アクセス図、エリア図、市町村競技一覧、宿泊施設数一覧
トップ・プロスポーツチームとの連携・協働	トップ・プロスポーツチームの公式戦等の機会を活用し、観光情報の発信や県産品PRにより販路拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 【期日】 5月～3月31日（木） 【場所】 県内、県外各地 【対象】 いわてグルージャ盛岡、岩手ビッグブルズ、釜石シーウェイブスRFC 【内容】 公式戦のうち主にアウェイ会場において、来場者へ県観光情報や県産品PRのパンフレット等を配付